



腐食生成物の量と種類を特定する 腐食生成物サンプラー

- フィルター・ホルダーの使用が簡単
- 化学物質処理プログラムの実効性の計測
- 腐食生成物の蓄積する場所に設置されるスラッジ・トラップの特定
- 等速サンプル流量を確保するためのバイパス容量

バックグラウンド

腐食の抑制と防止は、発電プラント水の化学技術者にとって、まず最初に念頭に入れて置かなければならない事柄です。これを怠ると、腐食は装置の重大な故障の原因となります。同様に重要なのは、タービンやボイラー内の腐食生成物は、プラント全体の出力と効率を著しく低下させるということです。

腐食は動的プロセスなので、通常のグラブ・サンプル法で代表サンプルを得ることは困難です。積算式サンプラーが必要です。これは、フィルターを使用して一定期間連続的に捕集した腐食生成物の量を測定することを意味します。

非溶解物質を捕集するために特殊なフィルターが使用され、溶解物質は特殊陽イオンや陰イオンフィルターを通して捕集することもあります。

説明

Sentry CPS 腐食生成物サンプラーは、個別のモジュールで、中央サンプル制御パネルに取り付けたり、別置きユニットとして、サンプル側に設置することも出来ます。

1. 取り扱いが簡単な高圧フィルター・ホルダーには特殊なフィルターに加え、陽イオン及び陰イオンフィルターが収められます。
2. 流量が非常に小さい場合でも高精度測定が出来る積算メーター

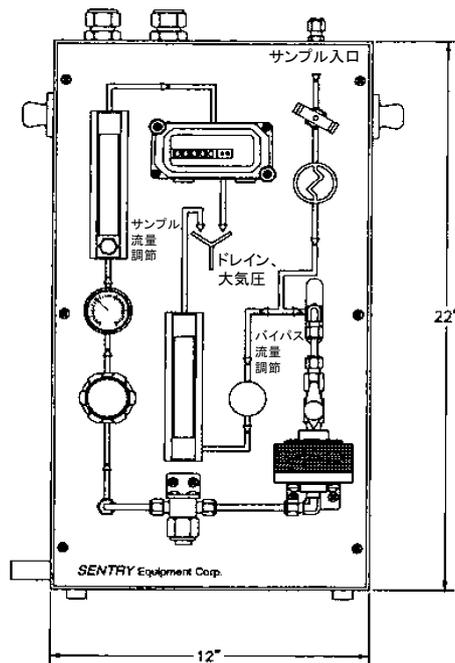
標準 CPS は携帯式で、腐食生成物発生時の調査をするためプラントまわりで簡単に持ち運んだり、またシステムに組み込んで、移動させることが出来ます。

仕様

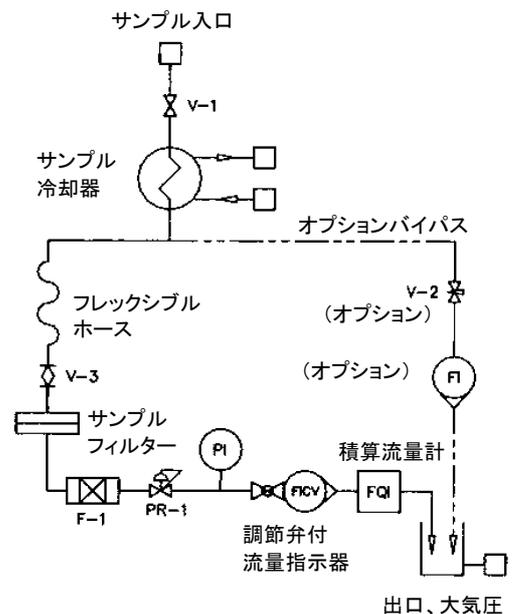
最大入口圧力:	3000 PSIG
最高温度(サンプル冷却オプションなし):	150°F (55°C)
サンプル流量範囲:	2 ~ 330 cc/min
バイパス流量範囲:	~ 1,300 cc/min
接液部材質:	316SS, PTFE, Viton
重量:	62.5 lb (28.4 kg)
外気温度:	40 ~ 140°F (5 ~ 60°C)
最大背圧:	大気圧

使用できるオプション

- パネル設置または別置型本体ケース
- サンプル冷却
- 速度制御回路(サンプル系の流速を保持するためのバイパス回路)
- 一つのケースに収められた、複数モジュール
- サンプラー前での減圧
- レンタルまたは購入
- 高定格圧力



シングル・サンプルモジュール
モデル CPS-11



フローチャート
シングル・サンプルモジュール

詳しい資料の請求は下記にお問い合わせください。

SENTRY Equipment Corp.

865 E. Armour Rd.

PO Box 127

Oconomowoc, WI 53066

Phone: 262-567-7256

Fax: 262-567-4523

E-mail: sales@sentry-equip.com

Website: www.sentry-equip.com

